

■ビジネスサーバStandardで利用していた定型アクセスカウンターを ビジネスサーバStandardプラスの定型アクセスカウンターに変更する方法

今まで



カウンターを表示したいページの
htmlファイルを開き、

カウンターを表示したい場所に

``

と記述して表示していました。

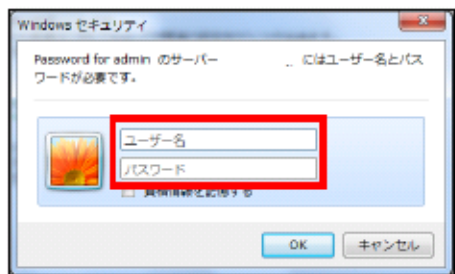
これから

新しいサーバに定型のアクセスカウンターをインストールします。

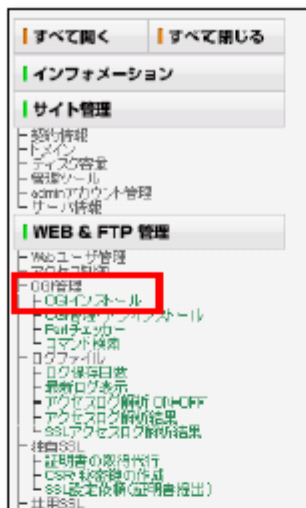
- ①お客様にお送りしている「確認用サイト接続方法」ページをご覧ください、
【管理者画面アドレス】に記載されているアドレスをブラウザに入力し、管理画面を表示します。



- ②サイトマネージャーをクリックして開きます。
- ③ユーザ名は「admin」、パスワードは、「確認用サイト接続方法」に記載されているものを入力します。



- ④ 「サイトマネージャー」の左メニューから「CGI 管理」⇒「CGI インストール」を選びます。



- ⑤ プログラムの種類を「C005 アクセスカウンタ」を選び、ディレクトリ名を入力して、「利用規定を承認してインストールする」ボタンを押してインストールします。

CGIインストール

プログラムの種類: C005 アクセスカウンタ

ディレクトリ名: counter

利用規定を承認してインストールする

ここで入力したディレクトリに、定型アクセスカウンターに必要なファイルが自動でインストールされます。

ディレクトリ名は任意のもので結構です。

- ⑥ インストールが成功したら、URL をクリックしてマルチカウンタの管理メニューを呼び出します。

CGIインストール

インストールが成功しました。

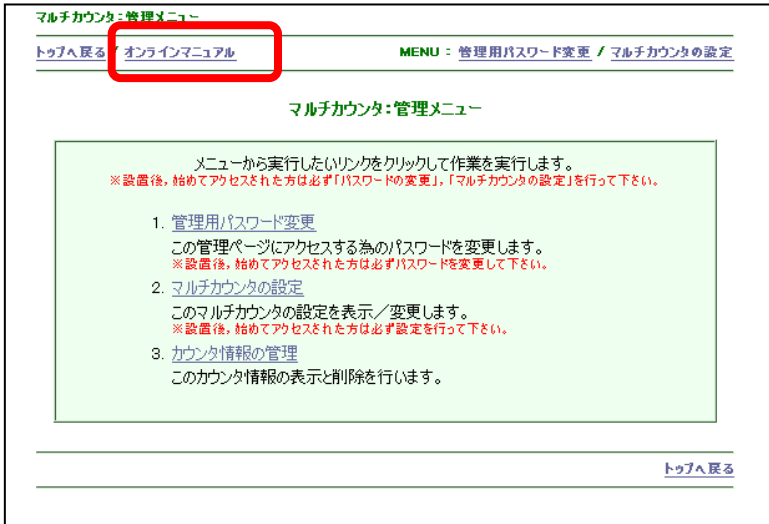
インストールしたURLは `http://128.178.228/cgi-def/admin/C0-005/counter/admin/index.html` です。ファイルマネージャーを開き、このURLのディレクトリを開き、注目のファイルがあるか確認してください。FTPでの接続や変更は行わないでください。

以下の管理メニューにアクセスして管理メニューを呼び出してください。

URL	<code>http://128.178.228/cgi-def/admin/C0-005/counter/admin/index.html</code>
管理用アカウント	admin
管理用パスワード	admin

※注意
管理メニューの更新は行わない。特に管理メニューを使用される可能性が低いです。また、管理メニューにアクセスして管理用パスワードを変更して下さい。

⑦管理メニューが開いたら、オンラインマニュアルをクリックします。



⑧「4. HTMLページにカウンタを表示させる」をクリックします。



⑨カウンターを呼び出すための記述が掲載されているのを確認します。

```
HTMLページにカウンタを表示させる
```

1. カウンタを取りたいHTMLファイルを用意します。
2. HTMLファイル中に以下のタグを追加します。

```
<SCRIPT language="JavaScript1.1"
src="http://xxxxxxxxxxxxxxxx.jp/cgi-bin/dhtml/005/xxxxxxxxxxxxxxxx/Abbr/hakp1/COUNTNT_JAVABカウンター名"></SCRIPT>
```

※カウンターは複数個の使用が可能です。日本語で使用しても大丈夫な仕組みになっています。

```
<SCRIPT language="JavaScript1.1"><!--
document.write("総カウンタ数:");
tkcounter_display($total_count);
// ----></SCRIPT>
<BR><BR>
```

```
<SCRIPT language="JavaScript1.1"><!--
document.write("今日のカウンタ数:");
tkcounter_display($today_count);
// ----></SCRIPT>
</SCRIPT>
<BR><BR>
```

```
<SCRIPT language="JavaScript1.1"><!--
document.write("昨日のカウンタ数:");
tkcounter_display($yday_count);
// ----></SCRIPT>
</SCRIPT>
<BR><BR>
```

```
<IMG src="http://xxxxxxxxxxxxxxxx.jp/cgi-bin/dhtml/005/xxxxxxxxxxxxxxxx/Abbr/hakp1/COUNTNT_JTYPE=DAILY_CF" width="11" height="11">
</SCRIPT>
```

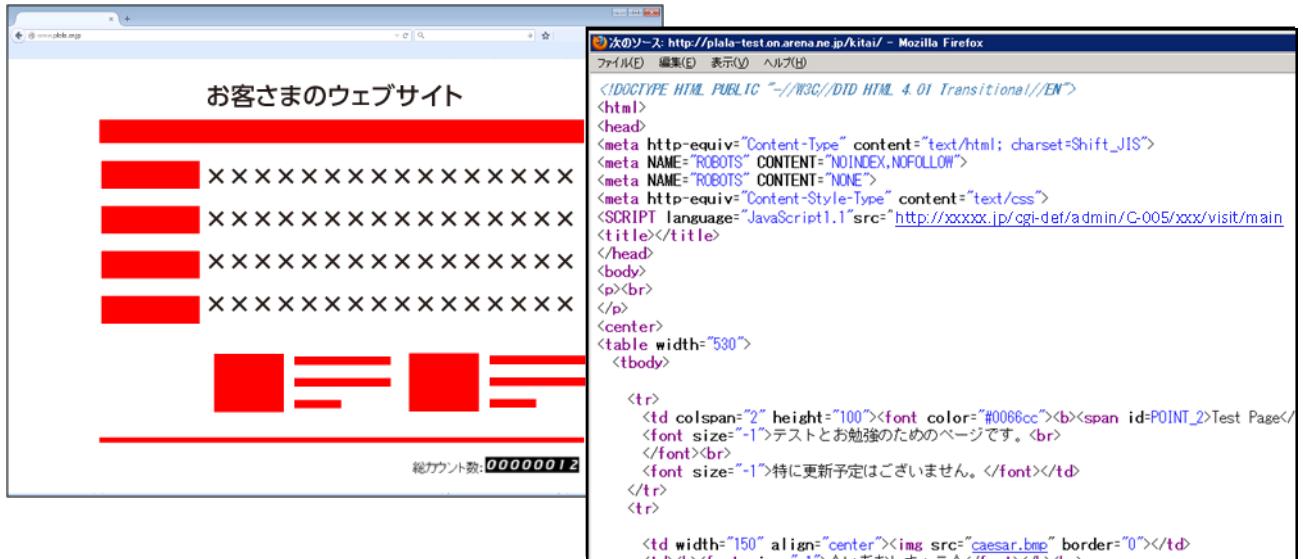
これで各カウンタ数が表示できるようになります。
後半のタグはJavaScript非対応ブラウザの為のものです。

※もし上記の設定でうまく出来なかったら、記述方法がわからない場合は下記の内容をコピーペーストしてhtmlファイルを作成して下さい。(下記内容で、カウンターにIDNOという名前を設定しています)

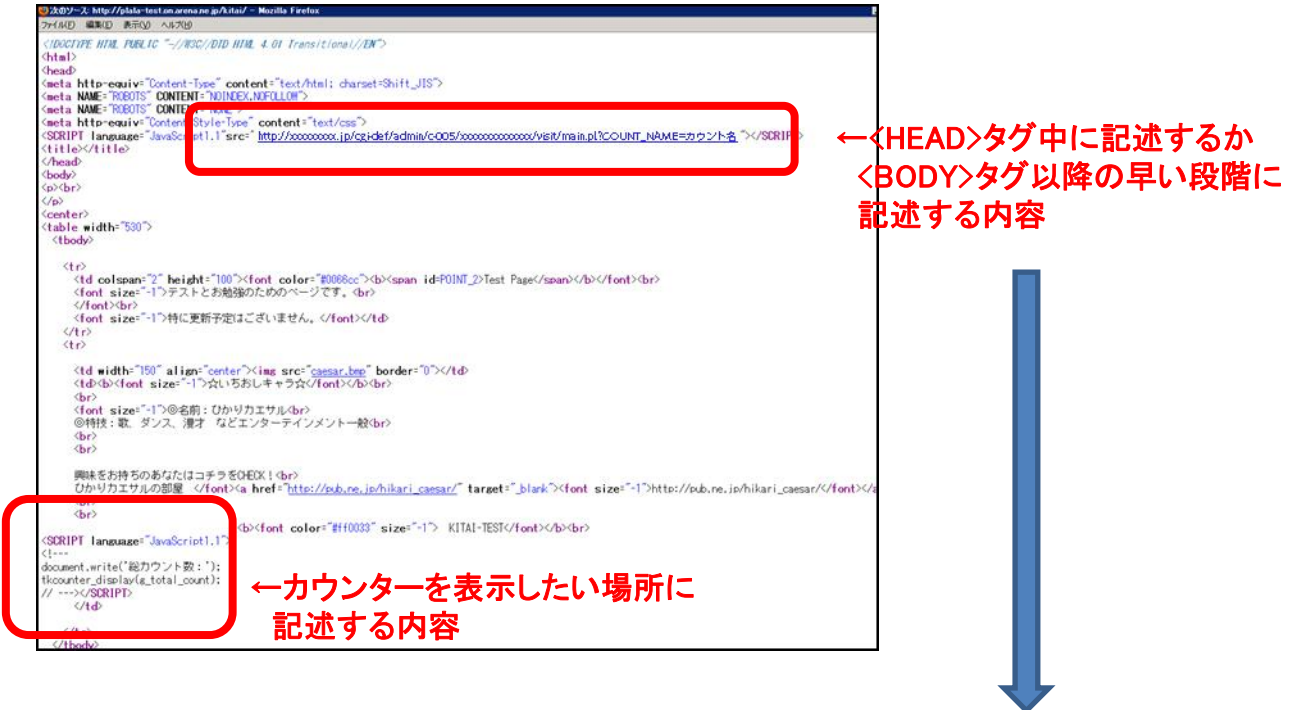
←<HEAD>タグ中に記述するか
<BODY>タグ以降の早い段階に
記述する内容

←カウンターを表示したい場所に
記述する内容

⑨新しいサーバ(ビジネスサーバStandardプラス)でアクセスカウンターを表示したいページのhtmlファイルを用意します。



⑩オンラインマニュアルに記載されていたタグを、アクセスカウンターを設置したいhtmlの中に記述します。

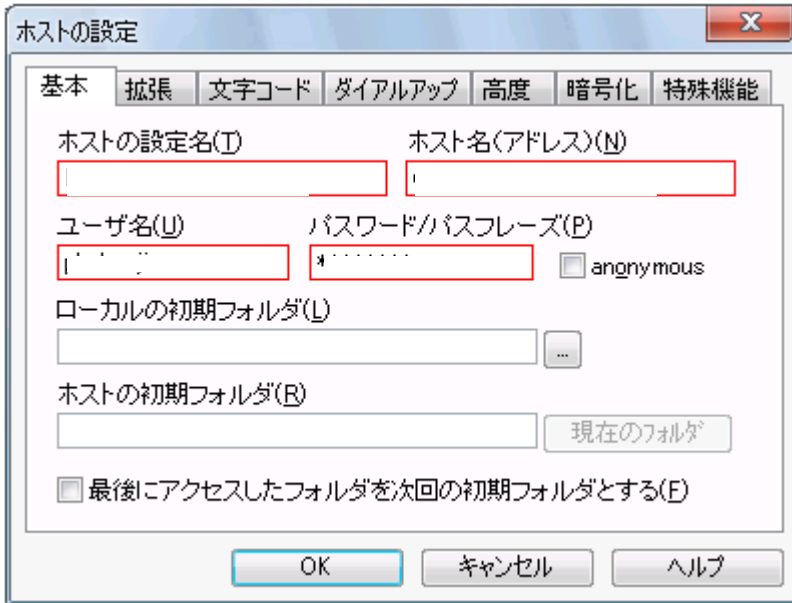


<SCRIPT language="JavaScript1.1" src="http://****.jp/cgi-def/admin/C-005/****/visit/main.pl?COUNT_NAME=カウンタ名"></SCRIPT>

カウンタ名は任意の名前で結構です。

■ビジネスサーバStandardプラスの定型アクセスカウンターに変更した後、任意の数字からカウントする方法

①FTPでお客様のサーバに接続します。



<FTP接続設定>

◆ホスト名

「確認用サイト接続方法」通知に記載されている、新しいサーバのIPアドレス

◆ユーザ名

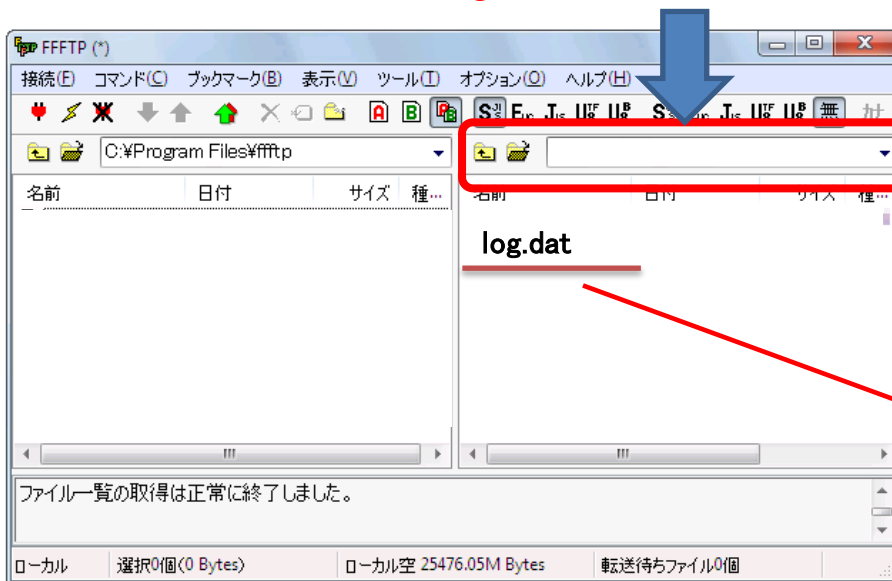
Admin

◆パスワード

「確認用サイト接続方法」通知に記載されているパスワード

②接続後、アクセスカウンターのプログラムの保存場所を開き、log.datファイルをエディタ等で開いて編集します。

/cgi-def/admin/C-005/ディレクトリ名/log/

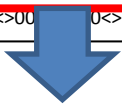


ディレクトリ名はアクセスカウンターをインストールした際にお客様で指定したディレクトリ名になります。

このファイルを編集。

- ③log.dat ファイルを開いて見ると、
「#EOF:～」以降の1行が各カウンタのデータになっています。

```
:COMMENT_NUM<>COUNT_NAME<>TOTAL_COUNT<>TODAY_COUNT<>YDAY_COUNT<>DATE<>HOST<>COUNT_URL
#
# $Id: log_header.cfg 3.8 2003/01/03 06:48:36 Administrator Exp Administrator $
# $Source: D:/Users/Administrator/projects/works/salut/C-005_tkcounter1-5/share¥RCS/log_header.cfg $
#
# ※このファイルは本プログラムを熟知した人以外は編集しないでください。
# 間違っこのファイルを編集すると思わぬトラブルに遭遇する恐れがあります。
#
#EOF:
1<>cnt_test<>00000004<>00000003<>00000000<>2015/08/12(Wed) 15:47:43<>i210~.ap.plala.or.jp<>http://~/index.html<>
2<>cnt_test2<>00000001<>00000001<>00000000<>2015/08/12(Wed) 15:49:33<>i210~.ap.plala.or.jp<>http://~/index2.html<>
```



通し番号<>カウンタ名<> **総カウント数**<> 今日のカウント数<> 昨日のカウント数<> アクセス日付<> ホスト名<> URL<>

- ④数を変更したい部分を修正し、log.dat ファイルを上書き保存します。

例: 1<>カウンタ名<> **00000001**<>00000001



1<>カウンタ名<> **00123456**<>00000001

- ⑤FTPでお客様のサーバに接続し、数を修正したlog.datファイルをアップロードします。

